



## 略歴

氏名：金森 敏幸（かなもり としゆき）合同会社 メドテックコンサルティング 代表  
所属：なし

- 学歴：1985年 早稲田大学大学院理工学研究科博士前期課程応用化学専攻化学工学研究修了 工学修士  
1994年 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程応用化学専攻化学工学研究修了 工学（博士）
- 職歴：1985年 三菱レイヨン株式会社豊橋事業所ポリエステル工場技術グループ・ポリエステル開発研究所 技師・研究開発員  
1990年 早稲田大学理工学総合研究センター 客員研究員  
1995年 通商産業省工業技術院物質工学工業技術研究所高分子材料部高分子材料プロセス研究室 主任研究官  
2001年 独立行政法人産業技術総合研究所物質プロセス研究部門生体模倣材料グループ（改組による）主任研究員  
2002年 独立行政法人産業技術総合研究所バイオニクス研究センターバイオナノマテリアルチーム 研究チーム長  
2007年 Cytonics 株式会社（産総研技術移転ベンチャー） CTO  
2010年 国立大学法人筑波大学医学群医学類 非常勤講師  
2010年 独立行政法人産業技術総合研究所幹細胞工学研究センター医薬品アッセイデバイスチーム 研究チーム長  
2016年 国立大学法人筑波大学グローバル教育院ライフイノベーション学位プログラム 教授  
2016年 国立研究開発法人産業技術総合研究所創薬基盤研究部門医薬品アッセイデバイス研究グループ 研究グループ長  
2023年 有人宇宙システム株式会社新規事業開拓室 アドバイザー

趣味：テニス、スキー・スノーボード、釣り、農業

人生のモットー：己および愛する者達の幸せを第一にしつつ、その輪を周りに広げるべく最大限己の能力を生かす。

座右の銘：人事を尽くして天命を待つ

MPS（Microphysiological Systems：人体模倣システム）の製品開発における技術的課題  
概要

MPSの研究開発は欧米では非常に盛んであり、既に20を超えるベンチャー企業が製品を世に出している。さらに、FDA（アメリカ食品医薬品局）が中心となって、MPSを前臨床試験で利活用する試みも盛んであり、近々ビジネスチャンスが到来すると考えられる。本講演では、創薬での利活用を視野に入れたMPSの研究開発と製品化について、技術的観点から課題と解決手段を概説する。